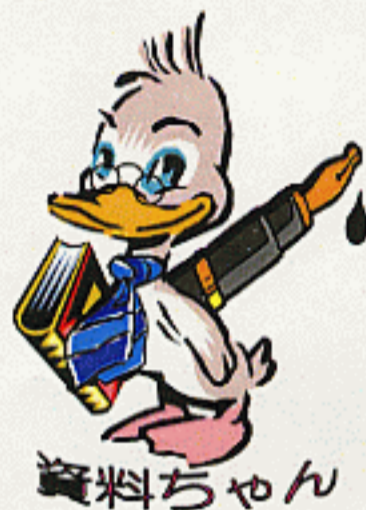


今月の資料ちゃんからのお知らせ



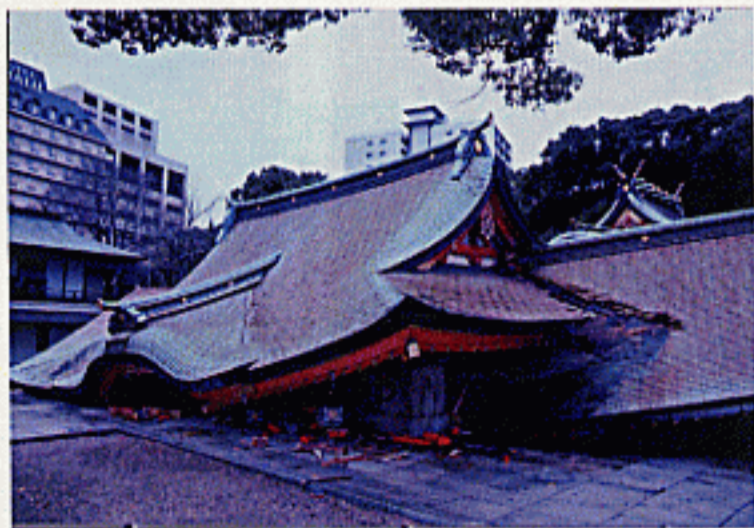
芸術の秋到来！日本には様々な建造物や美術品があるけどそれらについての防災対策はどうなっているのかなあ？



～ 災害から文化財を守ろう！ ～

大きな地震や台風などの災害が起こり、先ず守らなければならないのが人命です。災害が大きければ大きいほどその町の歴史的建造物や美術品も被害に遭っているのです。鴨長明が記した日本の随筆文学の代表作「方丈記」(1212年)には実際に起こった地震や大火事に襲われた人々をはじめ被害を受けた寺院・仏像の様子がなまなましく描写されています。今日、文化財は天災とどのように向き合っているのでしょうか？

① 兵庫県南部地震と被害



神戸市中央区にある生田神社も大きな被害を受けました（兵庫県広報課震災記録写真 人と防災未来センター所蔵 より）

まず、どのようなものを文化財と呼んでいるのでしょうか？文化財保護法の対象としては有形文化財・無形文化財・民俗文化財・記念物・伝統的建造物の5種に区分されています。このように文化財の範囲は広く多岐にわたりますが、建造物、絵画、彫刻、工芸品、などで学術上価値の高い歴史資料は有形文化財の中に入ります。1995年1月17日の兵庫県南部地震では、国指定重要文化財である旧居留置15番館や風見鶏の館(木骨煉瓦造)といった歴史的建造物をはじめ多くの美術品が被害を受けました。

もちろん文化財に指定されていないものの中にも歴史を物語る建造物や貴重な美術品などが数多くあります。阪神・淡路大震災の際、生田神社をはじめ数多くの「町の宝」が倒壊および損傷するという悲しい事態が起こりました。

② 文化財のレスキュー活動

博物館・美術館や歴史的建造物である寺院などの建物内には多くの美術品が展示・保存されているため、これらの建物自体が倒壊を免れるよう建築構造的にも常に注意を払っておく必要があります。特に美術工芸品は、地震の振動により直接的な被害を受けやすいため、テグス(半透明のヒモ)で固定したり、振動を吸収する免震装置を備えた台の上に展示したりと日本では、地震災害のない国々とは違った展示法が取り入れられています。また、火災に備えて美術品がある部屋には壁面塗料の素材指定をしたり、防火扉の設置もしています。

兵庫県南部地震直後から被災地の博物館・美術館関係者たちは、展示・保存資料の点検を始め、貴重な資料群が本格的な修復を待ちました。

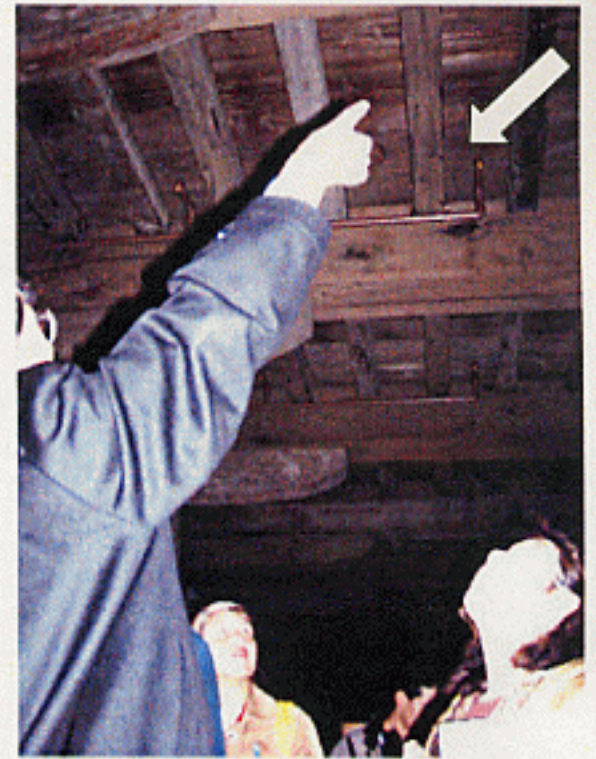


川西市栄根寺におけるレスキュー活動(兵庫県広報課震災記録写真人と防災未来センター所蔵より)

③ 地域ぐるみの防災対策を！

近年では歴史的建造物内における防災対策にも様々な工夫が凝らされています。世界文化遺産にも指定された姫路城内のスプリンクラー(散水装置)は見学者の視線に入りにくい所—すなわち観光の動線の視界の逆位置—に取り付けられています。

歴史的集落や町並みなどを保存するには地域ぐるみの防災対策が必要です。地震時には火災が発生することがあり、立地条件によっては火や水に弱い美術品が延焼といった二次災害に巻き込まれる可能性もあります。日頃から近隣の市民と消防および文化財関係者との連携をはかり、早期発見・通報から素早く初動活動へとつなげていくことが大切といえるでしょう。

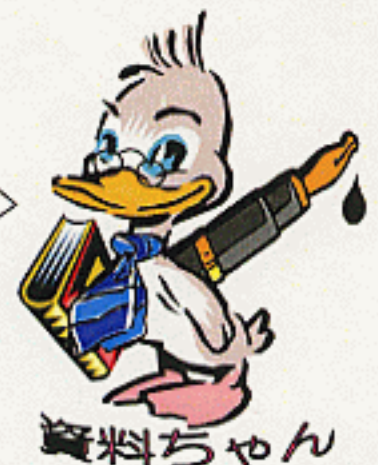


姫路城内のスプリンクラー設備 : 振り向いて目をこらさなければほとんど気づきません…



法隆寺での防火訓練風景(西和消防署提供写真)

町に住む一人一人の心がけも大事なんだね。タバコのポイ捨ては絶対にやめてね。大きな火災の原因になることがあるよ！





～ 新着図書紹介！ ～



● 「ハジババと1000頭のロバ～震災・神戸からアフガニスタンへ～」

市川齊 著、筒井書房、2003年（資料室図書番号:5-Cボラ 25352）

アフガニスタンの復興支援の様子から、報道だけでは見る事の出来ないアフガニスタンの生の姿が描かれている。作中に散りばめられているコラムからも、アフガニスタンという国の生活や文化が垣間見える。

● 「いのちを守る地震防災学」

林春男 著、岩波書店、2003年（資料室図書番号:5-Bボウ 25347）

阪神・淡路大震災で実際に起こった事例を挙げながら「地震は起こるもの」と考え、ひとりひとりの意識を高めて被害を最小限に抑え、その後の復興へと向かわせる地震防災について書かれた本。

新着図書

題名	著者・記事作成者	発行者・発行者
関東大震災	武村雅之	鹿島出版会
わくわく自由研究ベスト200	白石等(筑波大学付属小学校教諭)(監修) 田中力(筑波大学付属小学校教諭)(監修)	(株)主婦と生活社
国際紛争や災害の被害者を救う[国際赤十字]	ラルフ・パーキンス	(株)ほるぷ出版
地震	ポール・ベネット	(株)小峰書店
火山・地震	小森長生(日本語版監修)	(株)金の星社
死都日本	石黒耀	(株)講談社
理科年表ジュニア 第2版		丸善(株)
やわらかく、壊れる	佐々木幹郎	(株)みすず書房
「心のケア」を再考する	井上芳保	(株)現代書館
いのちを守る地震防災学	林春男	(株)岩波書店
ケン・ジョセフの世界どこでも日本救援援助隊	ケン・ジョセフ(JapanEmergencyTeam代表)	(株)徳間書店
災害・事故を読む	杉山孝治	(株)文芸社
災害の心理学とその周辺	若林佳史	多賀出版(株)
地震予知と社会	神沼克伊 平野光司[監修]	古今書院
ハジババと1000頭のロバ	市川齊	(有)筒井書房
子どもたちと話す人道援助ってなに？	ジャッキー・マム	現代企画室
東海地震はいつ起こるのか	木村政昭(琉球大学教授 地球科学専攻)	論創社
天気を読む日本地図	山田吉彦	PHP研究所
土石流災害	池谷浩	(株)岩波書店
徹底検証 東京直下大地震	溝上恵(東京大学名誉教授)	(株)小学館
なぜ電磁気で地震の直前予知ができるか	早川正士	日本専門図書出版(株)
一人ひとりを大切にす国家	滝実	(財)日本法制学会
日本国勢図会 2003/04		(財)矢野恒太記念会
地球の腹と胸の内	島村英紀	(株)情報センター出版局
火山の探検		(株)大月書店
ぼくらは地震たんてい団		(株)大月書店
決定版 これが地震雲だ	鍵田忠三郎	(株)NGS
復刻版 大正震災志 上・下		(株)雄松堂出版
復刻版 大正震災志附圖		(株)雄松堂出版
復刻版 大正震災志寫真帖		(株)雄松堂出版